

南陽市自分ごと化会議
第4回会議 議事概要

日時	2024年11月30日(日)13時30分~16時30分
場所	赤湯公民館(えくぼプラザ)1階大会議室
コーディネーター	神奈川県逗子市 福祉部長 石井 聡

第三回会議の振り返り

➤ スクールバスの現況について

- ・宮内中学校：吉野中学校のあった地区の生徒約10名がスクールバスを利用。
- ・沖郷中学校：梨郷中学校のあった地区の生徒約20名がスクールバス利用。
- ・赤湯中学校：中川中学校のあった地区の生徒約20名がスクールバスを利用。
- ・各地区とも、45人乗りの中型バスを使用しており、所用時間は30分程度。
- ・その他、吉野地区では市民バスも利用されている。
- ・中学校が統合された場合、生徒の通学時間が長くなったり、部活動の時間に対応できなくなる可能性がある。

➤ 校舎の現況について

- ・現在、市内の中学校の校舎はいずれも築40年を超えている。
- ・宮内中学校は、比較的新しく劣化状況も問題はないが、現在の生徒数で、3校が統合された場合、対応できるキャパシティはない。

➤ 新しい校舎に求めるものについて

- ・新しい校舎は、市内の既存施設に行きやすい場所にできてほしい。
- ・市民バスの利便性が良い場所がいい。
- ・災害が起きた時に、他の地域から避難してくる人を受け入れることができる余剰がほしい。

➤ 提案書の内容について

- ・地域のネットワークを生かして学校と地域を繋いでいくことが必要。
- ・安心できる南陽市の風土を活かして行ってほしい。
- ・中学校時代や子供たちの学び自体が南陽市のブランドとなることが理想像。
- ・多様な選択肢が選べる中学校であって欲しいと思う
- ・学校が1つになったとき、それぞれの地区のことを広く経験できるようになり、南陽市全体を知ることができる。
- ・子供たちの成長には他校との競い合うことも必要だと思うので、3校を維持してほしい。